

2016年3月28日

東急建設株式会社

 Bangladesh ダッカ都市交通整備事業 (MRT) 6号線 **1工区ウッタラ車両基地造成工事の受注** **~ Bangladesh 初の本格的な都市高速鉄道 ~**

東急建設株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：飯塚恒生）は、Bangladesh 人民共和国ダッカ市内において、日本政府の円借款による「ダッカ都市交通整備事業 (MRT) 6号線 1工区ウッタラ車両基地造成工事」を受注し、昨日、請負工事契約を締結しました。

Bangladesh で初となる本格的な都市高速鉄道を建設するダッカ都市高速整備事業において、最初の工区となる本工事は、22ヘクタールの車両基地の地盤改良、土地整備を実施するものです。用地提供（粗造成済み）、支障物の撤去後の本年6月に着工し、工期は25ヶ月で2018年の完成を予定しています。

本事業は、Bangladesh 政府の最優先事業に位置付けられ、引き続き鉄道建設工区の入札も予定されております。最初の工区を担当する当社としては、現地発注者や関係機関、更には管理を担当するコンサルタントなどと良好な関係を構築しながら、本邦企業らしい工事管理を目指す所存です。

なお、アジア圏における当社の都市鉄道工事受注実績はタイ、インドネシアに続き3ヶ国目となります。

【工事概要】

工事名称 (契約件名)	ダッカ都市交通整備事業 (MRT) 6号線 1工区ウッタラ車両基地造成工事 (Construction Package No.1: Construction of Civil Works for Soil Improvement, Land Development and Retaining Wall etc. at Uttara Depot of MRT Line 6 Under Dhaka Mass Rapid Transit Development Project.)
施工場所	Bangladesh 人民共和国 ダッカ市 ウッタラ地区
発注者	ダッカ都市交通会社 Dhaka Mass Transit Company Limited (DMTC)
設計者	日本工営株式会社ほか4社 JV
請負金	約80億円 (予備費を含む)
工期	25ヶ月 (2016年6月着工予定)
工事内容	・造成面積 22ha ・地盤改良 (特殊工法は本邦企業の起用を予定) サンドコンパクションパイル工法 483,000m、動圧密工法 147,000 m ² ・盛土 777,000 m ³

【調印式】



(前列)

Mr. Md. Mofazzel Hossain (DMTC 社長)

浅上プロジェクト統括部長 (当社国際事業部)

(後列右から)

Mr. Md. Kaikobad Hossain (ダッカ交通局担当次官)

Mr. M. A. N. Siddique (道路・交通・橋梁省次官)

Mr. Nazmul Harque Prodha (国会議員)

Mr. Md. Akabbar Hossain

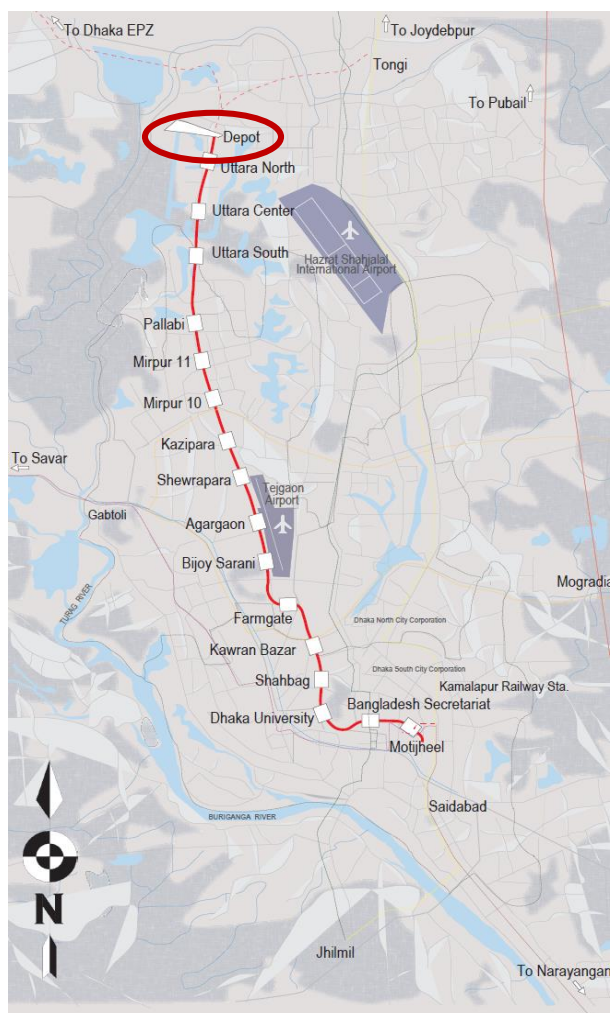
(国会議員 道路・交通・橋梁委員会議長)

Mr. Obaidul Quader (道路・交通・橋梁省大臣)

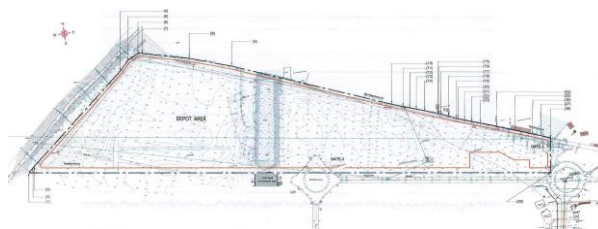
渡邊特命全権大使 (在バングラデシュ日本国大使館)

廿枝バングラデシュ事務所長 (JICA)

【MRT 6 号線路線図 (ダッカ市内)】



【車両基地位置図】



※入札図書より抜粋

【ダッカ都市交通整備事業 (MRT 6 号線)】

バングラデシュのダッカ都市圏は、世界有数の巨大都市圏ですが、人口や自動車の増加に交通インフラの整備が追いついておらず、交通渋滞が慢性化し、自動車の排気ガスなどによる公害が深刻な問題となっています。これらの課題に対応するため、日本政府の支援により、バングラデシュ初となる本格的な都市高速鉄道路線 (高架 20 キロメートル、16 駅) を建設し、公共交通機関への転換による交通混雑の緩和を図るとともにダッカ都市圏の大気汚染を抑制するものであります。

【本件に関する問合せ先】

東急建設株式会社 管理本部 経営企画部 広報担当 真安

TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail:webmaster@tokyu-cnst.co.jp